

ひょうご産業活性化センター10大ニュース

番号	項目名
1	<p>設備貸与事業の実績が全国首位、中小企業の設備投資に貢献</p> <p>平成27年度の実績は146件、19億6800万円で全国1位。本年度も引き続き、割賦損料の引き下げ（下限0.95%→0.90%）、設備保証金の原則廃止により、利用者の利便性をさらに向上し中小企業の設備投資を支援。</p>
2	<p>創立50周年記念式典・シンポジウムを盛大に開催</p> <p>7月1日、知事、中小企業支援ネットひょうごの関係機関を招き、記念式典・シンポジウムを開催。あわせて、「50年の歩み」、支援事例集「ひょうごの成長企業」を作成し、センターの取組を広く情報発信 <写真1>。</p>
3	<p>よろず支援拠点のサテライト相談所を姫路商工会議所、養父市商工会に新設・拡充</p> <p>多彩な分野の専門スタッフが経営相談に応じるよろず支援拠点のサテライト相談所を県下6カ所に拡充し、よりきめ細かな経営サポートを全県で展開し、中小企業の多様な経営課題の解決を支援。</p>
4	<p>成長期待企業・グローバルの会 4地区交流会を但馬・丹波地区で初めて開催</p> <p>中小企業支援ネットひょうごのプラットフォームで新たな事業にチャレンジする成長期待企業29社を発掘・育成。選定企業の経営者の自発的な交流組織であるグローバルの会の4地区交流会を但馬・丹波地区で開催、全県に成長期待企業の交流の輪が拡大。</p>
5	<p>異業種交流グループの活動成果が広がる</p> <p>「宝塚 花の里・西谷」、「神戸べっぴん物語」のブランド化や新商品の開発、「尼崎あんかけチャンポン」の全国イベントの開催による地域活性化など多彩な企業連携による事業が展開 <写真2>。</p>
6	<p>本社機能の県内移転など企業立地に大きく貢献</p> <p>平成27年の県内の工場（敷地面積1000㎡以上）立地件数は73件、全国2位で、このうち13件はひょうご・神戸投資サポートセンターが誘致。28年度も大手建設機械メーカーの本社移転など、企業誘致活動を積極的に展開。</p>
7	<p>次世代産業分野への参入支援など中小企業取引機会を拡大</p> <p>県内外で6回の取引商談会を開催し取引機会を拡大。さらに航空機など次世代産業分野の大手企業とのマッチングにより中小企業の参入を支援し、サプライチェーンの拡充にも貢献。</p>
8	<p>県・神戸市との連携により中小企業の海外展開を積極的に支援</p> <p>神戸市海外ビジネスセンターがひょうご海外ビジネスセンターの隣接区画に移転し、県・市の国際ビジネス支援窓口を一本化。情報共有と連携をさらに強化し、海外への販路開拓や生産拠点の拡充を積極的に支援。11月には神戸市と共同してベトナムにビジネスミッションを派遣し、商談会の開催やハナム省等との経済交流協議を実施。</p>
9	<p>クリエイティブ起業創出コンテストの開催による若手起業家支援や女性・シニア起業家への支援強化</p> <p>斬新なアイデアや優れた技術で新たな市場や価値を生み出すビジネスプランを募集し、11名の若手起業家を対象に公開審査を実施し5者を選定。あわせて、県補正予算も活用して女性起業家（計52件）及びシニア起業家（計37件）を支援するなど、起業支援を大幅に拡充 <写真3>。</p>
10	<p>ひょうご専門人材相談センター発足1年 人材採用面からの企業の成長を支援</p> <p>中小企業の「攻めの経営」を担う専門人材の採用を支援するひょうご専門人材相談センターが昨年12月の発足から1年で189件の相談、12件の成約。Webを活用した人材情報の提供や東京での豊岡まちづくり株式会社のマネージャーの記者発表会など積極的にPRを展開。</p>

ト ピ ッ ク ス	<p>くまもと産業支援財団の産業復興に協力</p> <p>5月にくまもと産業支援財団を訪問、震災お見舞い。同財団が10月に開催する商談会に兵庫県内企業の参加依頼を受け、県内企業3社を紹介し、産業復興を支援。</p>
	<p>神戸市産業振興センタービルへの移転準備を推進</p> <p>神戸市産業振興センタービルでは、活性化センターのサンパルからの移転に向けた工事に着手し、県、神戸市や神戸市産業振興財団と移転や事業連携についての協議を実施中。来年3月下旬に移転予定。</p>

<写真1>



7月1日
設立50周年記念式典・シンポジウム
(写真はパネルディスカッション)

<写真2>



異業種交流グループの活動成果の広がり
(写真は宝塚 花の里・西谷)

<写真3>



クリエイティブ起業創出コンテスト
公開審査